

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(令和3年度事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 2
II	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 ～ 6
III	点検・評価の結果		
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	7
1	学力向上支援事業	・ ・ ・ ・ ・	8
2	学習支援員事業	・ ・ ・ ・ ・	9
3	心の教室、子どもと親の相談事業	・ ・ ・ ・ ・	10
4	学校図書館図書業務支援事業	・ ・ ・ ・ ・	11
5	小学校外国語指導事業	・ ・ ・ ・ ・	12
6	地域学校保健委員会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	13
7	学校部活動補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	14
8	全校体育補助事業	・ ・ ・ ・ ・	15
9	集団宿泊教室事業	・ ・ ・ ・ ・	16
10	芸術鑑賞補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	17
11	特色ある教育推進事業	・ ・ ・ ・ ・	18
12	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）	・ ・ ・ ・ ・	19
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	20
1	人権教育推進協議会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	21
2	青少年育成町民会議補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	22
3	放課後子ども教室事業	・ ・ ・ ・ ・	23
4	歴史探訪講座等の開催事業	・ ・ ・ ・ ・	24
5	美里町文化協会補助金事業	・ ・ ・ ・ ・	25
6	地域学校協働本部事業	・ ・ ・ ・ ・	26
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	・ ・ ・ ・ ・	27
1	美里町ナイター陸上記録会	・ ・ ・ ・ ・	28
2	中学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	29
3	町民体育祭	・ ・ ・ ・ ・	30
4	美里町駅伝競走大会	・ ・ ・ ・ ・	31
5	美里町新春霊台橋マラソン大会	・ ・ ・ ・ ・	32
6	宇城中学校新人駅伝大会	・ ・ ・ ・ ・	33
7	中学生ソフトテニス美里大会	・ ・ ・ ・ ・	34
8	中学生女子バレーボール美里大会	・ ・ ・ ・ ・	35
9	宇城地区高等学校野球美里大会	・ ・ ・ ・ ・	36

I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況
 - ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
 - ② その他の活動状況

- (2) 教育委員会が所管する事務事業

教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

井 上 正 広	田 村 陽 子	吉 住 大 輔
大 倉 一 昭	鳴 瀬 信 介	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択する。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会議の開催状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会の会議は、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について次のとおりです。

令和3年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
令和3年 4月20日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町立小中学校の共同実施事務主任の任命について ・美里町文集編集委員の委嘱について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
令和3年 5月17日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町学校運営協議会委員の任命について ・美里町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について ・美里町社会教育委員の委嘱について ・美里町公民館運営審議会委員の委嘱について
令和3年 6月22日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町総合運動公園グラウンド施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
令和3年 7月27日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町いじめ防止対策審議会委員の任命について
令和3年 8月24日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町ジュニアスポーツクラブ運営委員会設置要綱の制定について
令和3年 9月27日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について
令和3年 10月22日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・専決処分事項(令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申)の報告及び承認を求めることについて

令和3年 11月26日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の決定について ・美里町放課後子ども教室推進事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
令和3年 12月22日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について
令和4年 1月24日 (定例会)	中央庁舎 大会議室	・令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について
令和4年 2月21日 (定例会)	中央庁舎 大会議室	・美里町奨学資金貸付の認定について
令和4年 2月26日 (臨時会)	中央庁舎 教育長室	・令和4年度教職員人事異動の内申について
令和4年 3月17日 (定例会)	中央庁舎 大会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について ・美里町各種大会出場補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

2 その他の活動状況

令和3年度における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・スクールバス運行審議会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面協議）
- ・美里町教育委員研修（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・熊本県市町村教育委員大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・宇城市町教育委員全員研修会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・九州地区市町村教育委員会研修大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、学習成果発表会
- ・町成人式典
- ・美里町教育の日講演会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・美里町文化祭（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ・町民体育祭他各種イベント事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

美里町教育委員会委員名簿

(令和4年4月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	吉 永 公 力	令和元年12月23日～令和4年12月22日
教育長職務代理者	野 尻 絹 子	令和元年12月23日～令和5年12月22日
委 員	佐々木 聡	令和2年12月23日～令和6年12月22日
委 員	北 原 和 子	平成30年12月23日～令和4年12月22日
委 員	西 島 聡	令和3年12月23日～令和7年12月22日

Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	2,708,124
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	25,529,618
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	2,073,600
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	7,650,552
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,783,540
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	32,957
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	693,000
8	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000
9	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	219,329
10	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	346,833
11	学校教育係	特色ある教育推進事業	町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を予算の範囲内で補助する。	500,000
12	学校教育係	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	保護者や地域の住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指す、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。	3,042,284

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	学力向上支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする		
活動内容	●学力向上の取組の点検・評価については、学期末ごとに美里町学力向上アクションプラン(29項目)を各学校の先生方に自己評価してもらい、PDCAサイクルによる学力向上の推進に努めた。1学期末に比べて2学期末には、29項目中28項目で自己評価の上昇が見られた。特に児童生徒が「しっかり学ぶ場の設定」が大きく伸びている。「めあて」や「学習課題」を捉えた後、児童生徒が自分自身でじっくりと思考し、自分なりの考えを整理する時間を設定することに先生方が留意していることがわかる。この時間を大事にすることで、その後のグループ協議や全体協議に主体的に学習に参加しやすくなっている。 ●令和3年12月実施の熊本県学力調査の各学年の各教科正答率をみると、小学校(3～6年で実施)の3～5年では、国語、算数とも県平均を大きく上回っており、良好な結果が得られた。6年においては、国語で僅かに県平均を上回り、算数では県平均を下回った。中学校(1、2年で実施)では、国、数、英とも1年で上回った。2年では、数学で県平均を上回ったものの、国語、英語では県平均を下回った。各学校においては、結果分析と対策を立て、学力向上の時間を設定したり、過去問題を活用したりしている。学年が上がるに従って個人差は大きくなりがちである。個に応じた指導を行い、誰一人取り残さない学習を心がけている。 ●教育審議員訪問を教師一人あたり2回程度行い、「分かる・楽しい」授業づくり5つの心得の視点に則って授業を参観し、指導を行った。特に、経験年数の浅い先生にとっては、貴重な指導力向上の機会となり、回数を重ねることで確実に指導力の向上を見ることができている。 ●学習用端末が令和2年度末に児童生徒に一人1台整備され、授業や家庭学習等での活用を図っている。		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	2,709,000 円	2,708,124 円	
(R4)予算額	予算額		
	2,717,000 円		
担当課	●学力向上アクションプランについては、年間を通して先生方に意識付けを行った。結果的にほとんどの項目で1学期より2学期がポイントが向上し意識の高まりを感じることができた。どの項目も日々の指導に深く関わりのある項目であり、今後も意識継続を図っていく。 ●県学力・学習状況調査は、例年12月に実施されている。前学年の内容と当該学年の内容を織り交ぜた出題となっているが、小学校においては、県を大きく上回る学年が多く、学力の定着を見ることができた。先生方が、日々の授業で「身に付けさせたい事項」を明確に意識して授業実践し、一人一人に関わっておられる成果が出ている。中学校においては、県を下回る学年や教科もあり、各校において課題分析と対策を立て、全職員で取り組んでもらっている。 ●教育審議員授業参観は、年間の計画に従って実践することができた。授業を見る視点を絞り、その視点を中心に面談を行うことができた。個人に対して年に2～3回実施することで、指導力の変容を見ることができており、面談で成長を伝えることにより、先生方のモチベーションを高めることができた。 ●新型コロナ禍ではあったが、参加人数を制限して町学力向上推進委員会主催の中学校区ごとの授業改善研修会を行うことができた。各中学校区で小学校1回、中学校1回の授業研究会を行い、授業の進め方に関する協議、小中の連携に関する協議を行うことができた。今後も小中合同の貴重な研修の機会と捉え、継続していきたい。 ●学習用端末の活用について、業者によるオンライン研修を数回行うとともに、各校で校内研修も取り入れ、教師や児童生徒のスキルも向上している。		
自己評価			

(外部評価委員の意見)

- 学力向上は長期的・継続的取組が必要なので、ぜひ継続してほしい。
- 学力向上の取組の点検・評価については、先生方の意識の高揚と指導力の向上に資するものであり、児童生徒の学習意欲と学力向上に寄与する事業である。
- 事業の成果がうかがえる、児童生徒の学力向上のためにも継続してほしい。
- 学力調査の結果は評価できる。今後とも、子供たちの学力向上のために色々な支援をお願いしたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内5校の小・中学校において、学習支援員(外国語指導助手、医療的支援含む)12名の会計年度任用職員を配置し、(砥用小2名・励徳小2名・中央小2名・砥用中3名・中央中3名)学級担任と協力し、取り出し指導等を行った。勤務時間は週30時間勤務である。		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 26,054,000 円(報酬)	決算額 25,529,618 円(報酬)	
(R4)予算額	予算額 26,361,000 円		
担当課 自己評価	担任以外に学習支援員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、よりきめ細かで適切な教育的支援を図ることによって児童生徒の自立に繋がっている。 また、学力低下を防ぐことにもなっている。		

(外部評価委員の意見)

○学校現場ではとてもありがたい制度なので、ぜひ継続してほしい。
○学習支援員の配置により、児童生徒の個性に応じたよりきめ細かな学習支援を行う事業であり、継続して実施してほしい。
○児童生徒の個人差の解消や、学力向上のためにも、必要な事業と思う。
○子どもたちの学力低下を防ぐため、またきめ細やかな指導を行うためにも学習支援員は今や必要不可欠であると思われる。学級担任と連携して充実した授業を行ってほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	心の教室、子どもと親の相談事業		担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。			
活動内容	・小学校2校(砥用小1名、中央小1名)、中学校2校(砥用中・中央中1名兼務)にそれぞれ配置し(合計3名)、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。 ・小学校勤務の子どもと親の相談員の勤務時間を、年間480時間の勤務の中で、子どもや保護者との面談、また相談内容によっては、SCやSSWとの連携を図り、きめ細かな支援ができた。相談員の中には、児童との信頼関係が上手く築くことが出来、登校渋りをみせる児童に登校を促す場面もあった。 ・年間480時間程度勤務(約週12時間、月48時間程度の勤務目安)			
(R3)予算額	予算額		決算額	
(R3)決算額	2,118,000 円(報酬)		2,073,600 円(報酬)	
(R4)予算額	予算額			
	2,116,000 円			
担当課 自己評価	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっているが、保護者との信頼関係を築くのは容易ではなく、苦慮しているケースもある。 中長期的な心のケアが必要な児童生徒が継続しているため、本年度も個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。令和2年度からは特に、新型コロナの影響で不安を抱えている児童生徒の相談に応じている。			

(外部評価委員の意見)

- 第三者的視点からのアドバイスなのでありがたい。
- 全職員の共通理解が大切である。
- 児童生徒及び保護者が安心して気軽に相談できる環境を確保することが重要であり、事業の趣旨や内容等について積極的に情報発信していただきたい。
- コロナ禍で、悩みや不安を抱えている子どもが増えているとき、気軽に相談できる環境は必要であり継続してほしい。
- 子どもの悩みや不安に担任以外で相談できる環境づくりは大切だと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	学校図書館学校司書業務支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書業務を担当する職員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小中学校図書館へ会計年度任用職員の学校図書業務を担当する職員(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画(各学校教育諸計画の図書館教育)の作成や、図書活動支援を行った。 ・平成29年度より、リーダー的存在となる学校図書管理員を学校図書指導員と位置づけ、各小中学校の図書指導巡回を行っている。		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 7,651,000 円(報酬)	決算額 7,650,552 円(報酬)	
(R4)予算額	予算額 7,848,000 円		
担当課 自己評価	学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書3名であるが、図書利用をさらに進める体制は確立している。		

(外部評価委員の意見)	
○教員だけでは図書室の機能を充分達成することは不可能なので、ぜひ継続してほしい。 ○学校図書館の利用を促進し、児童生徒の図書利用を拡大するためには学校図書業務を担当する職員の配置が不可欠である。 ○児童生徒が本に親しむためにも、図書館の環境整備や読書活動支援は必要だと思える。 ○これからも児童生徒のために、読書支援活動支援を継続していただきたい。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・低学年から英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	・小学校において、会計年度任用職員の外国語指導助手2名を配置している。担任と協力し、楽しく基本的な英語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図っている。新学習指導要領の全面実施により、3,4年生は年間35時間の「外国語活動」、5,6年生は教科「外国語科」として年間70時間の時数を英語教育に充てている。 また、美里町独自の事業として、1,2年生の外国語活動の時間を20時間確保することにより、他市町村に先立ち外国語教育を行っている。授業には、配置した外国語指導助手やALTが参加し、担任の助手として、子供たちに外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成に関わっている。		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,686,000 円(報酬)	決算額 97,712 円(消耗品費) 2,685,828 円(報酬)	
(R4)予算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,696,000 円(報酬)		
担当課 自己評価	英語を通じて、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。 また、低学年の頃から外国語指導助手やALTと関わることで、異文化・国際理解をより早い段階で学ぶことができている。		

(外部評価委員の意見) ○これらの地道な取組が今後も重要である。 ○可能であれば、外国語科＝美里町くらい力を入れてもらいたい。 ○低学年から外国の言語や文化に理解を深め、英語力を身に付けることは、国際化社会において極めて重要なことである。 ○外国の方と接する事は貴重な経験であり、興味を持ち楽しみながら英語を学べる事業だと思う。 ○小学校低学年から英語にふれることは意義があり、今後も継続していくことが必要と考える。外国語に触れる最初の機会として、児童が興味を持てるような授業をお願いしたい。学習はスタートが肝心だと思います。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、中学校区で設置された学校保健委員会により、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図る。		
活動内容	・各中学校区において地域学校保健委員会を設置し、学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図った。 ・平成29年度より、教育の日講演会を両地域学校保健委員会、美里町PTA連合会と合同で開催実施している。(令和3年度は中止。) ・中央中校区において、毎年講師を招いて保・小・中連携として、特別支援教育関係の講演会を開催しているが、令和3年度においてはコロナの影響で中止となっている。 会議等はできなかったが、資料作成等のみとなった。 ・砥用中校区においては、運営委員会4回、すこやか委員会2回を計画していたが、令和3年度においてはコロナの影響で中止となっている。 会議等はできなかったが、各学校での取り組みは継続している。		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 80,000 円(補助額)	決算額 砥用地区 22,957 円 中央地区 10,000 円 計 32,957 円	
(R4)予算額	予算額 80,000 円		
担当課 自己評価	地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。また、就学時の情報共有にも有効であり、その後の児童生徒への対応へも繋がっている。		

(外部評価委員の意見) ○地域全体で活動の活発化を図る上で重要である。 ○各中学校区において学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図るための事業が行われており、継続した取り組みが必要である。 ○町全域で児童生徒への健康な生活環境を向上させることが大切だと考える。コロナ禍でなかなか集まっていた会議等は開催できない中でも工夫して活動を継続してもらいたい。
--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・生徒の協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	・砥用中(5部) 315,000円補助(63,000円×5部) 野球部、サッカー部、柔道部(休部)、剣道部、陸上部、バレー部 ・中央中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部、テニス部、サッカー部、バレー部、文化部、陸上部 ※補助金の主な支出内容は、試合参加費負担金、及び道具類の購入 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 756,000 円(補助額)	決算額 砥用中 315,000 円(5部) 中央中 378,000 円(6部) 693,000 円	
(R4)予算額	予算額 756,000 円		
担当課 自己評価	中学校では部活動をととして、体力の向上と技能の習熟、人間力向上を図っており、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力、コミュニケーション能力を育むためにも必要である。また、保護者の経済的負担軽減にもつながっている。		

(外部評価委員の意見)

○学校部活動は生徒間の協調性や連帯感、人間性を培う上で大きな役割を担っており、活動支援のための助成は必要である。

○部活動には色々経費が必要です。保護者の負担軽減のために必要な事業だと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童が適切な運動の経験をする事と、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を目的とする。		
活動内容	・砥用小 54,000円補助 5-7月:ジョギングにおける体力づくり、50m走、水泳、フラグフットボール、タグラグビー 8-10月:陸上、50m、100m、リレー 11-12月:持久走、ミニバス、Tボール 1-3月:ジョギング、サッカー、ミニバスケット、長縄とび ・勸徳小 54,000円補助 1学期 体づくり運動、スポーツテストに向けて 2学期 体づくり運動、ラジオ体操、走の運動 3学期 体づくり運動、短縄、長縄 ・中央小 54,000円補助 5月:運動会練習 6-7月:ボール運動、鉄棒、一輪車など 9-3月:陸上、持久走、ボール運動、鉄棒、縄跳び、幅跳び、竹馬など (毎朝の運動タイム8:00~8:15まで実施) ※小学校部活動はH30年度より社会体育へ移行		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	162,000 円(補助額)	162,000 円	
(R4)予算額	予算額		
(R4)決算額	162,000 円		
担当課 自己評価	学校部活動が社会体育へ移行した平成30年度から、クラブに加入し運動している児童と、加入していない児童の運動(体格)格差が出てきており、その差は大きくなる傾向にある。 10歳前後の運動習得に最適な時期に運動の経験をしなければ、生涯にわたって適切な運動の経験のない大人へ成長する可能性もあるため学校全体で取り組む全校体育は必要である。		

(外部評価委員の意見)

○限られた予算なので、今後も支援が必要である。

○適切な運動の経験であれば、上記の運動以外にも可能であればアスレチックなどの全身運動など出来ればよいと思う。(フォレスト・ボンダリングなど)

○学校部活動の社会体育への移行により運動能力の格差が拡大する傾向にあり、全校体育による運動の機会の確保が必要である。

○児童の体力向上や、健康保持のため、全校体育の充実は必要であり事業の継続を願う。

○児童の将来のためにも体を動かす機会は重要であると考え。各小学校で、工夫して行われている。先生方の負担にならないように継続していただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通して心身の鍛錬を行った。 ・小学校の主な活動(1泊2日) ウォークラリー、アスレチック、スコアオリエンテーリングなど 砥用小学校:豊野少年自然の家(71,390円) 励徳小学校:豊野少年自然の家(32,260円) 中央小学校:豊野少年自然の家(96,970円) ・中学校の主な活動(日帰り)新型コロナウイルス感染対策のため 火起こし体験&昼食準備、ウォークラリー、ロープワークなど 砥用中学校:豊野少年自然の家(14,823円) 中央中学校:豊野少年自然の家(3,886円)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	小学校 272,000 円 中学校 528,000 円	小学校 200,620 円 中学校 18,709 円	
(R4)予算額	予算額		
	小学校 196,000 円 中学校 552,000 円		
担当課 自己評価	集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。 また、小小連携により合同開催で活動を行うことで、町内の子ども達が学校間を超えた繋がり、ふれあいを通し、相互の親睦を深めることができる。 本年度は、中学校実施日は別日となった。		

(外部評価委員の意見)

- 小小連携、中中連携のためにもぜひ継続してほしい。
- 集団宿泊は、他校の生徒との交流、集団生活や野外活動を通じた心身鍛錬の貴重な機会であり継続して実施してほしい。
- 他校の生徒との集団生活は貴重な体験であり継続してほしい。
- 学校では得られない貴重な体験ができる機会であり継続。本年度は別日実施となったが中央地区と砥用地区が合同で行うことは児童・生徒にとってもプラスになることが多いと考える。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

10事業名	芸術鑑賞補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・演劇や演奏会を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。		
活動内容	・小中学校で実施する演劇・演奏会鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。 砥用小学校：熊本ミュージックアーティスト 室内楽アンサンブル (演奏60分)110,000円 励徳小学校：太鼓芸能集団 鼓童 (演奏 60分)30,013円 中央小学校：県警音楽隊「安心・安全コンサート」 (演奏 60分 2回公演)5,820円 砥用中学校：熊本ミュージックアーティスト(ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ) (演奏 60分)97,000円 中央中学校：株式会社 ぱざぱ音楽堂(ジャズバンド「トリセガファイブ」) (演奏 60分) 104,000円 ・町補助(1人当たり1,000円予算)にて事業実施 ・今年度(R4)は、全学校開催予定としている。		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	小学校 338,000 円 中学校 213,000 円	小学校 145,833 円 中学校 201,000 円	
(R4)予算額	予算額		
	小学校 332,000 円 中学校 204,000 円		
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。		

(外部評価委員の意見)

- 芸術鑑賞の機会を今後も実施するため継続してほしい。
- 演劇や演奏会等の芸術に親しむ機会を提供し、児童生徒の感性や教養を高める有意義な事業である。
- 様々な芸術に触れることは、児童生徒の知性や感性を高めるうえで必要な事業である。
- 児童・生徒が様々なものに触れて、何かを感じてそれが将来なりたい自分を見つけるきっかけになると考える。予算の範囲内で継続していただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

11事業名	特色ある教育推進事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を支給し、特色ある教育の推進を図ることをも目的とする。		
活動内容	・創意工夫を生かした学校教育の充実と児童生徒の体験的学習活動の充実を図るため、各学校長の裁量を発揮した特色ある教育推進を行った。 ○砥用小学校 いのちの講話、校内研修、理科教育の充実、稲作体験、学校環境整備（ICT環境整備含む）など ○励徳小学校 茶道教室、教材補助具の活用、ICT機器の活用、学校支援委員会、ようこそ先輩など ○中央小学校 命の学習、指導力向上（児童理解、食育指導、学習環境整備、ICT機器活用、学力充実）、茶道教室など ○砥用中学校 ICT教育推進事業、校内花いっぱい推進事業、校内ハローワーク事業、校内研修など ○中央中学校 教職員スキルアップ事業、保小中連携推進事業、文化体験事業、学校や地域が連携を図るための事業など		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	500,000 円（補助額）	500,000 円	
(R4)予算額	予算額		
	500,000 円		
担当課 自己評価	各学校長の裁量を発揮しながら、各学校それぞれ地域の特性を生かした、特色ある教育活動の推進に取り組まれており、この事業は各学校において非常に重要である。		

(外部評価委員の意見)

○学校にとってもありがたい事業なので、継続してほしい。
 ○各学校において教職員及び児童生徒を対象とした特色ある教育・体験活動が実施されており、継続した取り組みが必要である。
 ○それぞれの学校の特色ある教育活動は、良い取組と思う。
 ○各学校で工夫して特色ある活動がなされている。学校同士で活動の報告会等、交流の場があれば尚良い活動が行えるのではないかと考える。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

12事業名	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指す。本町では、令和3年度からコミュニティ・スクール(国版)を導入し、学校評議員制度から学校運営協議会制度へ移行することで、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。		
活動内容	○ 各学校単位で、学校運営協議会を設置し、第1回と第5回は中学校区の小・中学校合同で開催する。第2回～第4回は、各学校単位で開催し、学校の特色や創意・工夫を生かして開催した。コロナ禍で、第4回の2校、第5回は開催できなかった。 ○ 学校運営協議会委員の構成は、次の通りである。 ・地域住民4名 ・保護者1名 ・地域学校協働活動推進員1名 ・教育委員会 若干名 ・学校関係者 若干名 昼間の開催であるが、出席率が高く、学校運営協議会委員は学校へ協力的である。 ○ 学校運営協議会の活動は、主に次の通りである。 ・学校や地域の課題の共有や未来の担い手をどう育てるかを熟議する。 ・学校運営に関する評価、協働活動、PTA活動等の協議や実働をする。 ・3つの機能の行使する。 ◇校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認する。 ◇学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる。 ◇教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。 学校運営協議会制度が目指すテーマを決めての「熟議」までには至っていないが、活発な意見交換はできている。		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	3,399,000 円	3,042,284 円	
(R4)予算額	予算額		
	3,407,000 円		
担当課 自己評価	めざす子供像を地域・家庭・学校が共有し、実現に向けて協働するためには、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進は有効である。初年度としては、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)は順調に動き始めた。		

(外部評価委員の意見)

○始まったばかりの制度なので、今後も継続し、成果をあげてほしい。

○学校単位で学校運営協議会が設置され、活発な意見交換が行われており、継続して地域とともにある学校づくりの推進に努めていただきたい。

○学校と地域の繋がりは大切であり、地域の実情に合った事業に期待します。

○学校だけではなく、地域・家庭が協働して子供たちのために意見を出し合う場は必要だと考える。小さな町の特色を活かし、子供たちに寄り添った学校づくりを目指してもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	美里町人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする	100,000
2	社会教育係	美里町青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。	0
3	社会教育係	美里町放課後子ども教室事業	授業日の放課後において、小学校の施設を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	0
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対する理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全4回の計画をしていたが、1回(R3.12.15)のみを開催。	0
5	社会教育係	美里町文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。	0
6	社会教育係	地域学校協働本部事業	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支え、とともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行う。さらに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。	203,300

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への派遣。人権教育の研究と実践については、例年7月に、町人権教育推進協議会・町青少年育成町民会議・社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で“社会を明るくする運動 美里町民の集い(美里町人権教育推進大会)”として人権啓発・学習につながる講演会を企画し、町内へお知らせしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関係団体と協議した結果、中止となった。人権教育の各種研究会等については、宇城地区及び熊本県の人権教育研究大会ともに動画配信等の形態による開催となった。人権学習への機会がコロナ禍によりなかったため、生涯学習講座(美里大学)で、人権学習を取り入れ、美里町人権擁護員さんより「人権とは？」と題し、講話いただき、人権啓発推進DVD“あなたが伝えたいこと”(結婚差別・身元調査)による研修を行った。		
(R3)予算額 (R3)決算額	100,000 円	決算額	100,000 円
(R4)予算額	予算額 100,000 円		
担当課 自己評価	人権は、人が生まれながらにして持っている基本的な権利であり、最も尊重されるものです。また、誰もが生涯において、人権に対する学びや学習、人権について考える機会が必要であると考えています。協議会における総会については、コロナ感染症拡大により書面承認による決議による形となりましたが、今後の人権研修会については、協議会の役員(委員)さんの意見等をお聞きしながら、いろいろな差別を含めた講話や啓発DVDなどを活用し、企画していきたい。		

(外部評価委員の意見) ○町民の人権感覚の育成は大事である。継続してほしい。 ○人権教育及び人権啓発活動は、地域社会や学校教育の中で継続して実施していくことが重要であり、活動の充実、強化をお願いしたい。 ○人権については、正しく学び正しく理解することが必要であり、事業の継続を願います。 ○様々な人権問題があり、多くの方に人権教育への参加を呼びかけることが重要であると考え る。	
---	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導を実施している。(3年度においても、ふるさと祭り・やまびこ祭りは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため祭りが中止となったため、各祭りにおける補導指導においても中止した。毎月の青パトによる巡回においては、中止や主に職員のみでの実施となった。)育成部会については、子どもの育成を図ることを目的として、さくら健康フェスタ(3年度は中止)の共催や町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に対し、防犯ステッカーを購入し、町PTA連合会を通じて配布した。		
(R3)予算額 (R3)決算額	256,000 円	決算額	0 円
(R4)予算額	256,000 円		
担当課 自己評価	令和3年度においては、総会(書面会議)や各種イベントなどが中止となり、活動する機会が少なくなったが、次世代を担う青少年の健全育成のためには、近年のスマホ依存によるネットやライン、SNS等における青少年問題への啓発や教育をすすめるため、子どもたち・子育て世代の保護者の方々、PTA等の各種団体を含む全体で協議・調整し学習会や講演会等を実施したい。		

(外部評価委員の意見)

○巡回指導や青少年問題への啓発活動は青少年の非行や被害の防止に繋がるものであり、継続して取り組んでいただきたい。
○スマホ依存が進む現代において、ネットやSNS等における青少年問題への対応についての啓発や教育事業にこれからも取り組んでいただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	授業日の放課後において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内の全小学校で実施していた放課後子ども教室については、県・町内の新型コロナウイルス感染状況により、町・学校・スタッフ等と協議し中止(3小学校)※予算支出用途(スタッフ謝礼・消耗品等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	2,025,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	2,624,000 円		
担当課 自己評価	核家族化や地域の繋がり希薄化や共働き世帯の増加する現状で、子どもたちの居場所づくりや子育てを地域住民の方々が参画して行う良い事業だと考えていますが、課題としてスタッフ数が減少しているため、今後はスタッフを確保する必要があり、フタツの新たな発掘と共に後継者育成が必要であり、新型コロナウイルス感染症拡大により中止していた事業の再開に向けた各地域との協議・現スタッフとの調整が必要である。		

(外部評価委員の意見)

○運営面で大変だと思うが、できるだけ継続してほしい。
 ○子供たちの居場所づくりを地域住民が参画して行う有意義な事業であり、スタッフの発掘と後継者育成について、地域学校協働本部事業で検討を行うことはできないだろうか。
 ○少子化で地域には同年代の子どもが少ない状況である。放課後の居場所づくりとして、放課後子ども教室は重要だと思う。
 ○放課後の子どもたちの居場所として、また学校・家庭のみでなく、地域が子どもを育てていく中心となる事業だと考える。コロナ禍で開催がされない中、再開に向けてしっかりと協議、検証をお願いしたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	当初、3年度において歴史探訪講座を年4回実施(定員30名)を計画 12月15日に第1回を実施。参加者13名(内容:『史跡 陣ノ内城跡の概要』 講師 甲佐町教育委員会 上高原 聡) 第2回以降も予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、中止した。 ※予算支出用途(講師謝礼等)		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 30,000 円	決算額 0 円	
(R4)予算額	予算額 30,000 円		
担当課 自己評価	当初、地域の文化財を中心とした講演会を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1度しか開催できなかった。事業については美里町の歴史をより深く理解する機会の提供を行える事業と考えている。歴史探訪講座等の開催については、予算額は少額ではありますが、石橋をはじめとする多種多様な文化財を住民の方々に理解して頂き、改めて町の良さや文化財保護への意識を高めてもらう機会だと考えます。		

(外部評価委員の意見)

- 美里町の歴史を学び、文化財への理解と関心を高めるため有意義な事業である。
- 広く町民に知らせるような講座の開催をお願いしたいと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	年1回の主催事業と文化祭の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため両方ともに中止となった。主催事業については、7月に開始予定であった「七夕コンサート」を9月に延期するなど検討をおこなったが、感染症拡大が収まらず中止とした。文化祭についても、(令和3年度の文化協会登録45団体)感染症拡大に伴う活動量・練習・製作時間等の減少によって文化祭に間に合わないため開催中止となった。常任理事会や理事会で、各イベントが中止になるなかで文化活動が続けていくために、可能な団体は活動記録を作成しユーチューブで1週間程度配信した。(6団体)		
(R3)予算額 (R3)決算額	325,000 円	決算額	0 円
(R4)予算額	予算額 325,000 円		
担当課 自己評価	令和3年度において、年に一度の主催事業や文化祭が開催できなかったことは、非常に残念に思う。しかしコロナ禍により文化活動が縮小していくなかで、活動が続けていくために意見交換や協議をし、新しいこと(動画の記録・配信)に取り組めたことはこれからの活動にも生かしていけると感じた。		

(外部評価委員の意見)

- 文化活動を継続するため、活動記録の動画配信を始められた団体もある。今後も感染状況に応じながら、文化振興事業への取組みをお願いしたい。
- 年に一度の展示・披露の場があることは、文化活動を行う人にとっては励みになる事業である。
- 町民が文化的な活動することに支援していくことは、心豊かな町づくりとして必要なことであると思います。コロナ禍で開催が難しい中ではあるが、更なる創意工夫をお願いしたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校協働本部事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うことを目的とする。		
活動内容	○コーディネート会議 推進員6名、教育委員会若干名、必要に応じて学校関係者を加えて、年8回、地域と学校をつなぐコーディネートの具体的方法・内容を検討した。 ○学校支援の会 学校支援団体及び個人、推進員、学校関係者、教育委員会で構成し、交流や穏やかなネットワークづくりのために年3回開催を予定したが、コロナ禍で3回目は中止とした。 ○地域学校協働本部運営委員会 行政、学校、地域住民、地域学校協働活動推進員で構成し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の方向性や評価を行うため、年2回開催した。		
(R3)予算額 (R3)決算額	2,551,000 円	決算額	203,300 円
(R4)予算額	3,297,000 円	予算額	
担当課 自己評価	地域学校協働活動の要請数は目標24回、実績26回で多様な活動が展開できた。学校支援ボランティアの人材バンク登録は目標30名、実数80名で、大幅に目標を上回ることができた。地域推進員5名が地域と学校をつなぐ「コーディネート」の中心的役割を果たし、学校からの要望に適切な支援ができた。		

(外部評価委員の意見)

○コロナ禍でなかなか実質的活動は制約されたが、学校と地域を結ぶ大切な事業なので継続してほしい。

○コーディネート会議、学校支援の会、地域学校協働本部運営委員会がそれぞれの機能を発揮し、地域と学校が連携・協働して活発な活動を行っていただきたい。

○「学校を核とした地域づくり」多くの地域住民が、この事業を理解し活動する事業に期待します。

○これからも活発な活動を継続していただきたい。地域住民が活動を知る機会(広報誌掲載等)を検討していただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第30回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
2	社会体育係	第36回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体を発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
3	社会体育係	令和3年度町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
4	社会体育係	第18回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
5	社会体育係	第51回 美里町新春霊台橋マラソン大会	走ことはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
6	社会体育係	第42回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組みられている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
7	社会体育係	第26回 中学生ソフトテニス美里大会	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
8	社会体育係	第50回 中学生女子バレーボール美里大会	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0
9	社会体育係	第40回 宇城地区高等学校野球美里大会 (委託料)	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。 ※令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	42,042

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	第30回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、8月8日(日)に美里町総合運動公園グラウンドにおいて、トラック競技21種目、フィールド競技3種目で開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費なし ※予算支出用途(消耗品費・仮設照明料等)		
(R3)予算額		決算額	
(R3)決算額	220,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	220,000 円		
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。 特に、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の实力を知る格好の機会であり意識の高揚にも繋がると考えられる。 少子化の影響で、近年は参加者が減少傾向にあるため検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 中学生は分からないが、小学校が参加する意義がはっきりしていないのではないか。
- ナイターでの開催ではあるが、夏場の一番暑い時期であり、参加者が増えるよう開催時期や開催方法を検討する必要があると思う。
- 競技種目の見直し等、コロナ禍に合った大会にしてもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	第36回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月18・19日(土・日)の2日間、美里町総合運動公園グラウンド、町営球技場において、宇城管内の中学校を対象に、中体連後の新人戦と位置付け開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費8,000円／チーム(砥用中・中央中は免除)は運営費に充当。 ※予算支出用途(メダル・消耗品費等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	150,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	150,000 円		
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習の成果を試す有効な大会と思われる。 また、参加校を宇城管内のみに見直して実施しているが、部員の減少による廃部や合同チームが増えてきているので大会の縮小・参加地域及びクラブチームの参加等の検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- どのような検討をしていくか、担当部でしっかり話し合ってほしい。
- 参加チームが減少する傾向にあるため、開催方法を見直す時期にきているのではないかと。
- 長く続いてきた大会なので、今後も開催要項等を検討し継続してもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	令和3年度町民体育祭	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	9月22日(火)から10月6日(水)の間、総合運動公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・総合体育館・砥用中学校体育館・砥用小学校体育館において開催予定だった球技の部(4種目)、10月10日(日)にカントリーパークグラウンドにおいて開催予定だったスポーツ大会の部ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	550,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	550,000 円		
担当課 自己評価	事業目的達成のためには意義ある大会であると思われる。参加人員は減少していると思われるので、今後は支部の再編及び幅広い年代が参加できる種目や開催方法の検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 近隣市町村や同規模の町等を参考にしてみたらどうか。
- 競技種目の検討は早期に必要だと思う。
- スポーツを通して地域を越えた交流ができる有意義な大会であり、多くの町民が参加できるよう球技及びスポーツ大会の種目の見直しを検討してほしい。
- コロナの影響で数年ぶりの開催となる次回体育祭は、開催の方法等は十分に検討が必要だと考える。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	第18回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月12日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.2km)において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費なし ※予算支出用途(区間賞メダル・ゼッケン・役員弁当代等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	310,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	310,000 円		
担当課 自己評価	町民の関心も高く地域の連帯感を醸成するには効果があると思われる。 また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考えられる。 少子高齢化や人口減少に伴い、選手選考等が難しくなって来ている為、区間数・年齢区分等を検討していく必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 根本的見直しをしても良いのでは。以前から選手確保が大変だと思う。
- 選手選考だけ行ってもいいのではないか。
- 選手選考が難しい支部もあるため、年齢区分の見直し、区間数の削減等の検討が必要と思われる。
- 支部によっては、禍疎に伴う選手選考が難しく、走るのが苦手な人も無理やり選手にされている節がある。区間・年齢等検討が必要と思う。
- コロナ禍後の大会開催は、選手の選考が一番の課題だと考える。次回開催に向けて各支部と十分に意見交換をしてもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	第51回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日(土)総合運動公園グラウンド発着コース(13種目・男女年齢別)において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費 高校生以上1,000円 小中学生500円 未就学児(無料) ※参加費は、一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(参加賞・メダル・賞品・ゼッケン・消耗品費等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	335,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	335,000 円		
担当課 自己評価	町内帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町内外からの参加者等もあり、町のPRには一定の効果があると思われる。 しかし、大会運営上、年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更について指摘があるが、町外からの参加者には、元日に行われる大会を楽しみにされている参加者もある。町内からの参加者が少ないので、内容等を検討する必要がある。		

(外部評価委員の意見)

○年始の開催については、大会関係者の負担を考慮して、開催時期・内容等について検討してほしい。

○町外からの参加者が多いと聞く、町のPRのためにも、内容を検討して実施してもらいたい。

○長く続く大会でリピータ参加者が多いのか、新規参加者も一定数いるのか。開催期日の検討も含めて協議する必要がある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-----------------	---

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	第42回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月27日(日)町営球技場スタート・ゴールの駅伝コース(男子・6区間・18km)(女子5区間・12km)において、宇城管内の中学校が参加して開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費2,000円/チームは、一般会計の歳入(雑入)として処理 ※予算支出用途(レプリカ・メダル・ゼッケン代等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	73,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	73,000 円		
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。		

(外部評価委員の意見)

○中学生の冬季における体力の向上、精神力を高めるために有効な大会であり、継続して実施してほしい。

○長く続く大会として、今後も安全面に考慮しつつ大会を継続してもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	第26回中学生ソフトテニス美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。		
活動内容	4月29日(祝)に、カントリーパークテニスコートにおいて、中体連前の練習の成果の確認の大会として県内各地の中学校から、男女各12チームの参加により開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費2,000円/チームは、一般会計の歳入(雑入)として処理 ※予算支出用途((入賞賞品・消耗品費等)		
(R3)予算額	予算額	決算額	
(R3)決算額	46,000 円	0 円	
(R4)予算額	予算額		
	46,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。県内の強豪校が参加することで町内の中学校レベルアップにも有効と思われる。		

(外部評価委員の意見)

○県内の強豪校が参加するレベルの高い大会であり、施設の有効利用を図るためにも継続して開催してほしい。
 ○ソフトテニスが盛んな本町において、生徒たちが日ごろの成果を発揮する機会、また他校との交流という意味でも今後も継続してもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	第50回中学生女子バレーボール美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。		
活動内容	5月22日(土)に、総合体育館において、中体連前の練習成果の確認の大会として宇城管内及び近隣市町の中学校の参加により開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費2,000円／チームは、一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(入賞賞品・審判謝金・消耗品等)		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 104,000 円	決算額 0 円	
(R4)予算額	予算額 119,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。 しかし、部員数の減少より合同チームの参加もあり、今後も参加チームの減少が予想されるので、参加地域を検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 社会体育係での検討。
- 中体連に向けての前哨戦として有意義な大会であり、参加チーム減少への対応策を取っていただき、継続して開催してほしい。
- 中体連以外の大会としては、生徒たちが練習の成果を発揮する貴重な大会だと考える。開催方法を検討して生徒たちにとって有意義な大会にしてほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和3年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	第40回宇城地区高等学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。		
活動内容	「宇城地区高校野球美里大会実行委員会」に委託料を支出し、5月28日(金)29日(土)の2日間、総合運動公園グラウンドにおいて、夏の甲子園予選に向けた練習成果の確認の大会として宇城地区及び隣接の高校の参加により開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費10,000円／チームは、一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(審判謝金・メダル・消耗品費等)		
(R3)予算額 (R3)決算額	予算額 340,000 円	決算額 42,042 円	
(R4)予算額	予算額 340,000 円		
担当課 自己評価	夏の甲子園予選に向けて練習成果を試す有効な大会と思われる。部員不足による合同チームが今後増えていくことも考えられるため、高野連と協議しながら開催する必要がある。(大会の縮小、参加地域の拡大)		

(外部評価委員の意見)

○夏の甲子園に向け技術向上のための重要な大会であり、事業効果が上がるよう大会の実施方法を検討してほしい。

○長く続いてきた大会ではあるが、競技人口が減少する中で例年のやり方では難しくなっていると考える。コロナの影響で久しぶりの開催となる次回に向けてしっかり協議をしてもらいたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------